

金日成主席の革命偉業と業績の影響力

ギニア金日成・金正日主義研究全国委員会書記長
アブドゥラエ・ディアロ

金日成主席の革命偉業と業績は、解放と独立、自主性を目指す人民の闘争の龜鑑となって彼らを引導することにより輝いています。

社会主義朝鮮の始祖である金日成主席は、日本の軍事的占領から朝鮮を解放するための革命闘争（1925－1945）に身を投じました。

金日成主席は、チュチェ思想を創始して革命家と朝鮮人民が進むべき道を示しました。

金日成主席は「こんにち、世界の進歩的人民に提起されている共通の課題は、自主化された新しい世界を建設することです。自主化された世界は、国と民族のあいだに支配と従属がなく、侵略と戦争のない世界、いいかえれば国際社会の民主化が実現した新しい世界です」と述べています。

金日成主席は、自由で平和な新世界を建設するために世界の自主化を実現するという思想を示しました。

世界の被抑圧人民の苦痛に胸を痛めた金日成主席は、アフリカ諸国とラテンアメリカ、ヨーロッパと中東諸国の民族解放闘争と新しい社会建設の闘争に積極的な支持と援助を送りました。

ナミビアの初代大統領サム・ヌジョマが、ナミビアの独立は朝鮮の金日成主席のお陰でもたらされた、といったのは決して偶然や宣伝ではありませんでした。

金日成主席のエネルギーッシュな活動によって、非同盟運動はアフリカとラテンアメリカ、中東で植民地化と帝国主義に反対し、独立と連帯のための発展途上諸国の強力な力量となりました。

金日成主席は、自主性を実現するためにたたかう植民地アフリカ諸国人民に支援を惜しませませんでした。

金日成主席は、朝鮮の大勢の専門家と技術者をアフリカ諸国に送って、国家と武力の建設、工業と農業、教育、保健医療、住宅、スポーツの発展を援助するようにしました。金日成主席は、特にアフリカ諸国の気候と地形学的環境に即した農法や灌漑技術を伝授するよう注意を払いました。

金日成主席の提案によって、平壌では食糧及び農業増産に関する非同盟諸国 のセミナーがおこなわれました。金日成主席は、アフリカの農業発展を目指す農業研究センターの建設にも注意を払いました。

朝鮮の農業科学者たちの技術的援助によって、ギニア共和国には「金日成農業科学研究所」が、東部アフリカのタンザニアにはチョンリマ農業研究所が建設されました。こうした温かい配慮によって、多数のアフリカ諸国では農業生産が高まりました。

それ以来、アフリカ諸国の人民は、チュチエ思想こそは民族の自主権と独立を実現し、政治、経済、国防分野における自主の路線を確固と堅持するための無敵の砦であると思っています。それは、アフリカ諸国の人民がチュチエ思想を通じて、自分たちも社会と自己の運命の眞の主人になれるということ、何物や何人も自分たちを脅かすことはできないということに目覚めたからです。

金日成主席の尊名は太陽を象徴しており、金日成主席への追憶はアフリカ諸国の進歩的人民の心の中に永遠に残ることでしょう。